

# ぼくとわたしの ギャラリー

南あわじ市内の「若き芸術家」の作品を紹介します。学校等を通じて募集した絵画や習字、工作などの作品を写真で紹介。対象は中学生以下に限らせていただきます。

## 動物愛護絵画コンクール (淡路獣医師会主催)



▲最優秀賞 大谷一路 (倭文小学校4年)



▲優秀賞1席 瀧川 慎 (賀集小6年)



▲レタス栽培が盛んな三原平野 (複列)

## わかまち ふるさと資源

### 安全安心のレタス

恵まれた地理条件と気候条件に加え高度な技術を生かして栽培されているレタスは、特産の玉葱に並ぶ南あわじ市自慢の食材のひとつです。市内では昭和三十九年、二haで作付が始まりました。

以後、食の洋風化と農業の高齢化に伴って、収穫と出荷に多くの労力を要する玉葱から、レタスへと移行しました。加えて、育苗、定植、包装などの作業の機械化が進み、千八百八十ha(延べ、平成十六年)で栽培されるようになりました。食の安全性に対する消費者の関心が高まる中で、生産者として安全安心な野菜を生産し、食卓へ提供する取り組みが平成八年から始まりました。JAあわじ島と県の機関等により、農薬使用量の大幅削減、減化学肥料、健全な土づくりなど環境にやさしい継続性の高い農業の研究をすすめる「JAあわじ島安全安心野菜生産システム」を築きました。兵庫県も生産技術や安全性についての基準を満たした「兵庫県認証食品」を認定し、特産レタスを応援しています。(作付面積は、兵庫県農林水産統計年報参照)

## ★新シリーズ わがまち 元気

### 闘う志士集団「南あわじ市消防団」

今一番の心配は、南海、東南海、東海地震の発生であります。三十年以内の発生確率は、四〇〜五〇%に上方修正されました。この五〇%を降水確率に置き換えますと、かなり高い確率になり大変な広域災害が予想されます。台風も同じですが、広域的災害が発生すれば、常備の防災機関だけでは、到底対処できないことが容易に想像できます。私達の郷土は、我々消防団が守ります。地域防災の主力として防災活動をリードしていきます。

また、南あわじ市に合併しても色々な組織団体がありますが、我々の組織は仲良し集団ではありません。火災であろうが、水害であろうが、いざ、有事の時には、身を挺してそれに立ち向かう、まさに闘う集団であります。今後さらに

#### 市民へのメッセージ

消防技術の向上を図り、義務団体として、住民の負託に応えるため頑張ります。男女共同参画のもと、ソフト面での活動をさらに充実させるため、女性分団を設置します(四頁参照)。応援ください。

(団長 真野和典)

南あわじ市消防団  
◆団長 真野和典  
◆組織 21地区  
59分団 2,226人  
◆活動内容 緊急出動  
初出式、ポンプ操作  
救急救命法講習会  
防災訓練、地域活動  
協力など



▲農機車による救助活動(市総合防災訓練)

このコーナーでは、市民活動やボランティアで活発に活動する団体を紹介します。広報担当から依頼しますので、よろしくお願いします。